

次回の地域市民参加懇談会の開催について（案）

内 閣 府
原子力政策担当室

1．今後の地域市民参加懇談会のテーマ設定

「新潟県中越沖地震」のテーマ（横浜および富山にて開催）については、以前の市民参加懇談会（第 28 回：H19.8.27 開催）にて、周辺状況を見極めた上で地元（柏崎市、刈羽村もしくは新潟市）で開催する旨決定しているが、現在、各省等が地元で積極的に行政や事業者の取り組みについての広聴・広報に取り組んでいる最中であることから、これらが一段落して、今後の政策課題を見出すことができるタイミングで、地元での地域市民参加懇談会を開催するべきと考える。

そこで、次回の市民参加懇談会については、今年重要な課題に関連させて、「地球温暖化と原子力」というテーマで、原子力政策について国民が知りたいことの把握を行うことにつなげることがよいと考える。

なお、「高レベル放射性廃棄物処分」をテーマとした広聴・広報は重要な活動であるという認識は変わらないが、現在、各省等が全国規模で広聴・広報活動に取り組んでいるので、市民参加懇談会においてこのテーマを扱うときには、これらの評価を含む政策課題を汲み取ることができるようすべきと考える。

2．地域市民参加懇談会の平成 20 年度計画概要案

- 開催回数：3 回程度
- 開催場所：立地地域と消費地での開催をバランス
- 開催テーマ（例）：
 - ・第 1 回目
地球温暖化と原子力（立地地域に近い都市（例えば隣接県））
 - ・第 2 回目以降
新潟県中越沖地震（新潟市、柏崎市、刈羽村）
地球温暖化と原子力（原子力発電所立地県の都市）

3. 次回の地域市民参加懇談会の開催案

(1) 開催日時

平成20年5月下旬以降

(2) 開催場所

原子力発電所立地県もしくは隣接県の都市

(京都府京都市、香川県高松市、鹿児島県鹿児島市など)

(3) 開催テーマ

～知りたい情報は届いていますか～「地球温暖化と原子力」

内容：

「地球環境保全・エネルギー安定供給のための原子力のビジョンを考える懇談会」の報告等を題材として、地球温暖化対策の中での原子力の位置付けや国際的な動きなどについて説明・議論することをきっかけとして、原子力に関して何が知りたいのか、また、その情報が届いているかなどについて市民の意見を伺う。

(4) 招へい者候補

開催場所等を踏まえて検討

(5) 開催プログラム

第1部 ・テーマに係る専門家等からの説明
・各パネリストによる、ご意見発表
・パネルディスカッション

第2部 ・会場参加者からご意見を伺う

(6) 開催時間等

開催場所等を踏まえて検討

(7) 会場レイアウト

パネリストを参加者が囲う形式

(8) 参加募集人数

150～200名程度

以上

「市民参加懇談会」の今後の進め方について（案）

平成19年8月3日

1. 市民参加懇談会のこれまでの活動

市民参加懇談会は、平成13年7月の設置以来、これまで立地地域と電力消費地の双方において計14回開催されてきた。市民参加懇談会は原子力政策における市民参加・国民理解を促進するための「広聴」を主目的として位置づけており、テーマを定めず市民の声を聞いて、市民の知りたいことを把握し、その結果を原子力委員会及び関係府省の広報活動に反映させる取組を行ってきたところである。

2. 市民参加懇談会の今後の役割

市民参加懇談会は、今後とも個別の政策に限定されずに広聴を主目的とした活動を行っていくものとする。原子力委員会が実施する、広聴・広報事業におけるその位置づけは以下のとおり。

〔政策の企画段階における市民参加〕「市民参加懇談会 in 〃」

市民の意見等を把握するための広聴を行うもの。その結果は、政策の企画・立案に反映される。

〔政策の実施、評価段階〕「ご意見を聴く会」

原子力委員会が行う原子力政策の策定や政策評価を行う過程において、国民の意見の聴取を行うもの。その結果は、政策やその評価の取りまとめに反映される。

〔政策の理解促進段階〕「公開フォーラム」

原子力政策の特定の事項について、国民に説明し実施における課題を把握する。

その他

ホームページの運営（質問コーナーを含む）を通じた情報の公開、意見、質問等の受付。

3. 今後の市民参加懇談会の進め方

名称

専門部会の名称である「市民参加懇談会」と区別するため、各地で市民から直接意見を伺う市民参加懇談会については、「市民参加懇談会 in 〃」や「地域市民参加懇談会」などの表現を用いる。

市民参加懇談会の検討内容

市民参加懇談会では、「地域市民参加懇談会」の開催に係る企画・立案とともに、聴取した市民の意見等について、原子力委員会及び関係府省が行う原子力政策へ反映するための報告を取りまとめる。

専門委員の役割

専門委員は、市民参加懇談会を通じ、原子力政策に係るコミュニケーションの媒介者として、原子力に関して国民が知りたいことや意見等をすくい上げるとともに、対話を通じて国民の理解を助ける役割を担うこととする。

「地域市民参加懇談会」について

地域市民参加懇談会では、広聴を中心とした活動に主眼を置きつつも、より効果的に市民の意見をすくい上げ、国民が知りたいことの把握を行う観点から、必要に応じて、テーマを設定するとともに、そのテーマに関連して参加者の理解を促進するための説明も行う。

その際、必要に応じて、説明者としてテーマに応じた有識者を招へいする。

以 上

地域市民参加懇談会の開催実績

発電所の 立地地域	北海道(泊村)	H18.9.29開催(札幌市)
	宮城県(女川町)	参考 H20.3.31(予定) ご意見を聴く会(評価):仙台市
	福島県 (双葉町、富岡町、福島市、郡山市)	H16.5.22開催(富岡町) 参考 H17.8.19 ご意見を聴く会(大綱):福島市 参考 H18.6.9 ご意見を聴く会(評価):福島市
	新潟県(刈羽村、柏崎市)	H14.1.15開催(刈羽村) 参考 H18.11.17 ご意見を聴く会(評価):新潟市
	石川県(志賀町)	
	福井県(敦賀市、福井市)	H15.6.28開催(敦賀市) 参考 H17.8.24 ご意見を聴く会(大綱):福井市
	静岡県(御前崎市)	H17.10.5開催(御前崎市)
	島根県(松江市)	H18.12.6開催(松江市)
	愛媛県(伊方町)	参考 H19.8.1 ご意見を聴く会(評価):松山市
	佐賀県(玄海町)	参考 H17.8.22 ご意見を聴く会(大綱):佐賀市
	鹿児島県(薩摩川内市)	
	核燃料 サイクル等の 立地地域	青森県(六ヶ所村、東通村)
茨城県(東海村、那珂市、大洗町)		
立地地域以 外の主な消 費地	東京都	H14.7.24 参考 H14.11.19 H17.8.26 ご意見を聴く会(大綱) H16.3.27 開催 H18.8.7 ご意見を聴く会(食品) H19.3.6 公開フォーラム(食品)
	首都圏近郊 (横浜市、さいたま市、千葉市など)	H15.10.14開催(さいたま市) H19.10.29開催(横浜市)
	大阪府(大阪市)	H16.10.29開催 参考 H18.8.9 ご意見を聴く会(食品)
	兵庫県(姫路市)	H18.3.11開催
	福岡県(福岡市)	H17.9.26開催
	富山県(富山市)	H20.1.21開催
	愛知県(名古屋市)	参考 H16.11.10 長計についてご意見を聴く会
	京都府(京都市)	参考 H19.3.29 公開フォーラム(食品)
	広島県(広島市)	
	香川県(高松市)	

地域市民参加懇談会の開催実績（詳細）

市民参加懇談会 in かりわ（平成 14 年 1 月 15 日）

「わたし達がエネルギーを大切に使うためには、どういう暮らし方がいいか。」「エネルギー供給のあり方は、どうあったらよいか。」「いま、原子力発電に求められるものは何か。」をテーマに、開催しました。刈羽村の方を中心に約 100 名の参加があり、原子力やプルサーマルについて、また、国・事業者や住民の姿勢について、多様な意見が出されました。

開催にあたっては、刈羽村の有志の方々と何度も意見交換を重ね、開催日やテーマ、発言者等について決めていきました。

市民参加懇談会 in 東京（平成 14 年 7 月 24 日）

「日本のエネルギーの需要と供給はどうあったらいいか。」「原子力発電は必要か、あるいは不要か。」「原子力政策決定過程と市民とのかかわり」をテーマに開催しました。約 110 名の参加があり、各界のエネルギーについての意識、原子力に関する意見、原子力委員会や市民参加懇談会への期待など、多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in 東京（平成 14 年 11 月 19 日）

「知りたい情報は、届いているのか」 - 東京電力の不正記載を契機として - をテーマに開催しました。約 180 名の参加があり、情報公開、国や企業などの姿勢について多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in 青森（平成 15 年 3 月 15 日）

「知りたい情報は届いていますか」 - 核燃料サイクルを考える - をテーマに開催しました。約 200 名の参加があり、情報公開のあり方や教育の必要性など多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in 敦賀（平成 15 年 6 月 28 日）

「原子力と地域社会」 - 原子力が地域にもたらすプラスとマイナスを考える - をテーマに開催しました。約 250 名の参加があり、今後の共生のあり方やもんじゅの今後についてなど多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in さいたま（平成 15 年 10 月 14 日）

「この夏の電力危機とは何だったのか」 - 電力の消費地から安定供給

を考える - をテーマに開催しました。約 170 名の参加があり、電力危機が起こった背景、電力危機が何をもたらしたかなどについて多様な意見が出されました。

第 7 回市民参加懇談会 ~ 長計へのご意見を述べていただく場として ~
(平成 16 年 3 月 27 日)

新たな原子力長期計画のあり方やその検討の進め方を審議、決定するための準備活動を開始したことから、「意見募集」を行い、応募していただいた方から直接ご意見を伺う場として開催しました。意見募集は 475 件の応募がありました。

約 110 名の参加があり、第 1 部「発言希望をいただいた方からご意見を聴く会」では、9 名の発言者の方からご意見を伺い、第 2 部「会場参加者、発言者からご意見を聴く会」では、挙手により会場参加者の 11 名の方からご意見を伺い、さらに伺ったご意見に関連して、第 1 部の発言者からもご意見を伺った。原子力長期計画のあり方、位置づけや原子力長期計画策定プロセスなど多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in 福島・ふたば (平成 16 年 5 月 22 日)

「原子力と暮らし」~ これまでとこれから ~ をテーマに開催しました。約 170 名の参加があり、地域振興、信頼、生産地と消費地の温度差、原子力政策、原子力行政などについて多様な意見が出されました。

第 9 回市民参加懇談会

~ 核燃料サイクル政策に関してご意見を述べていただく場として ~

(平成 16 年 10 月 29 日)

新計画策定会議において調査審議されている「核燃料サイクル政策」に関して、ご意見を伺う場として開催しました。約 180 名の参加があり、エネルギーセキュリティ、核不拡散、「もんじゅ」などについて多様な意見が出されるとともに、美浜発電所 3 号機事故についても意見が出されました。(大阪市にて実施)

市民参加懇談会 in 福岡 (平成 17 年 9 月 26 日)

「原子力と暮らし」~ 知りたい情報は届いていますか ~ をテーマに開催しました。約 160 名の参加があり、情報発信の在り方及び受け取り方について、原子力政策、マスメディアの役割、学校でのエネルギー教育、環境問題、プルサーマル計画などの面から多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 i n 御前崎（平成 17 年 10 月 5 日）

「知りたい情報は届いていますか」～これまでと、これから～をテーマに開催しました。約 240 名の参加があり、テーマである知りたい情報に関して、原子力発電の安全性、プルサーマルなどの多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 i n 姫路（平成 18 年 3 月 11 日）

「21 世紀の放射線利用について」～ 知りたい情報は届いていますか～をテーマに開催しました。約 170 人の参加があり、医療分野、農業分野、工業分野における放射線利用について多様な意見が出されるとともに、広聴・広報活動、教育等についても意見が出されました。

市民参加懇談会 i n 札幌（平成 18 年 9 月 29 日）

「原子力～知りたい情報は届いていますか～」をテーマに開催しました。約 120 人の参加があり、パネリスト間で原子力発電の安全性、環境問題等の多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 i n 松江（平成 18 年 12 月 6 日）

「原子力～知りたい情報は届いていますか～」をテーマに開催しました。約 120 人の参加があり、テーマである知りたい情報に対して、広聴・広報活動、教育、原子力防災などの多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 i n 横浜（平成 19 年 10 月 29 日）

「原子力～知りたい情報は届いていますか～『新潟県中越沖地震に学ぶ』」をテーマに開催しました。約 120 人の参加があり、地震時の原子力施設についての情報提供や報道、および普段からの教育や関係者間のコミュニケーション等に関して多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 i n 富山（平成 20 年 1 月 21 日）

「原子力～知りたい情報は届いていますか～『新潟県中越沖地震に学ぶ』」をテーマに開催しました。約 150 人の参加があり、地震時の原子力施設についての情報提供や報道、および義務教育段階でのエネルギー教育や活断層の評価等に関して多様な意見が出されました。

以 上